



**IIXIL**

# デュオ テラスタ (両開き子扉本体)

組立て説明書

●この説明書は、必ず組立てされる方にお渡しください。

■組立てされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**▲注意** …組立てを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

## ▲注意

●型材切断面でケガをするおそれがありますので、ストライク側縦框（上・下）には同梱の框キャップを必ず取付けてください。

### ■組立て上へのお願い

- 中棧付きのガラスは、上用下用でサイズが異なります。間違えないように組立ててください。
- ガラス寸法はダンボール又はカタログをご覧ください。
- グレイジングチャンネルは別売りです。ガラス厚に応じて選択してください。
- 必ず指定の組立てねじを使用してください。
- 枠の組立ておよび取付け・本体の吊込みは、「枠組立て説明書」「取付け説明書」をご覧ください。
- 取付け説明書および丁番に同梱のワッシャーは必ず施工される方へお渡しください。
- 本体を枠に吊込んだ状態で運搬しないでください。枠が変形し、ドアの開閉に支障がでるおそれがあります。
- ねじは $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$  { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ } のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

### ■組立てねじ・部品一覧表

記号	イ	ロ	ハ	ニ
姿図				
	ナベタッピンねじ φ5×80	プッシュボタン φ10	座金	ストライク側 キャップ
記号	ホ	ヘ	ト	チ
姿図				
	吊元側 キャップ	ナベ小ねじ M4×6	ロッド棒	皿小ねじ M4×16

### ■組立て順序

#### 1 本体の組立て

※図は中棧付きで示しています。

1枚ガラスの場合は中棧はありません。

①ガラス厚に合ったグレイジングチャンネル（別売り）を用意し、ガラス四方にまわします。

※コーナー部はカッターなどで切込みを入れてください。

②上・中・下棧にガラスを差込みます。

※上・中・下棧の両端からガラスが均等に出るようにしてください。

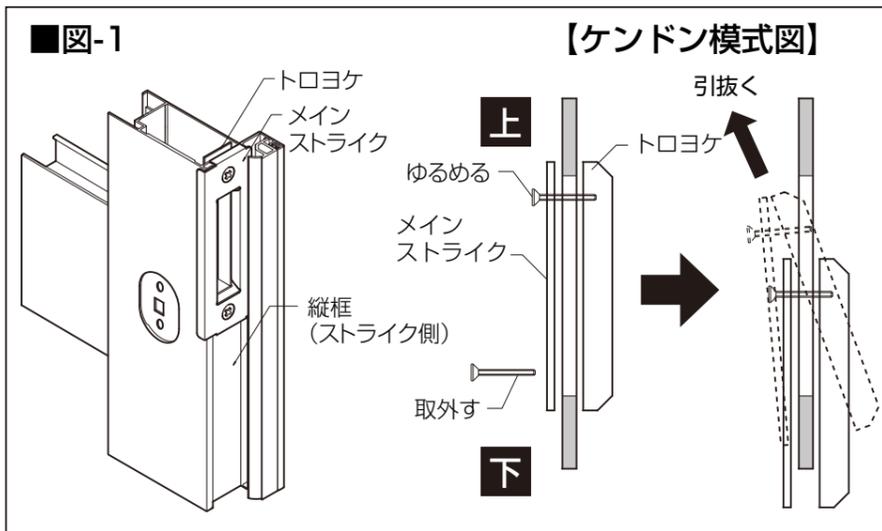
③左右縦框を差込みます。

④縦框の中に座金を入れ、上・下棧のタッピングホールに位置を合わせ、本体組立てねじを差込み締めます。

⑤中棧に本体組立てねじを差込み締めます。

※縦框（ストライク側）にはメインストライクが取付いています。メインストライク上下に付いているねじの上のねじをゆるめ、下のねじを取外し、ケンドンを利用しメインストライクとトロヨケを取外してください。（図-1）

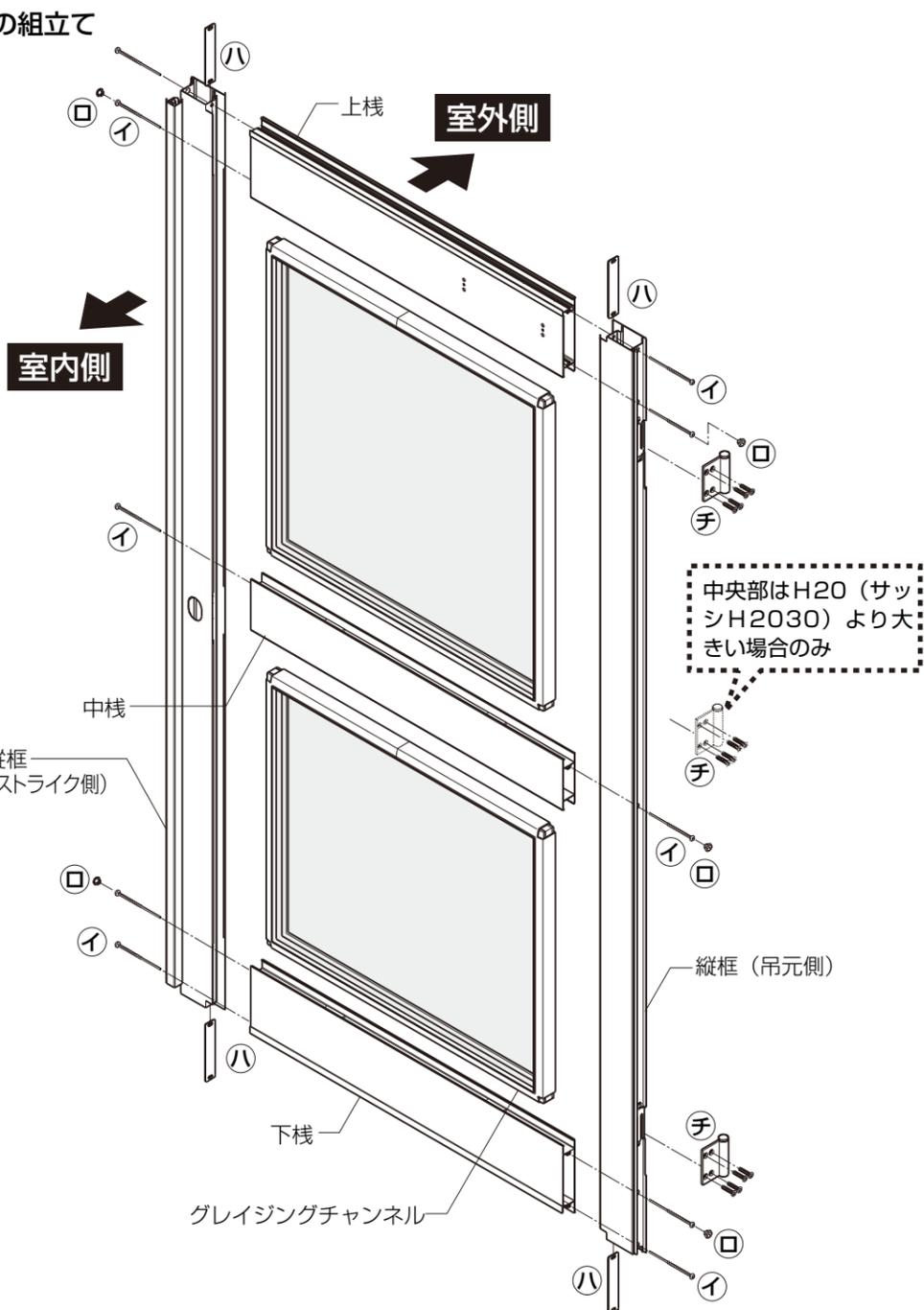
#### ■本体の組立て



その後、本体組立てねじを差込み締込んだ後にメインストライクとトロヨケを図-1と逆の手順で取付けてください。

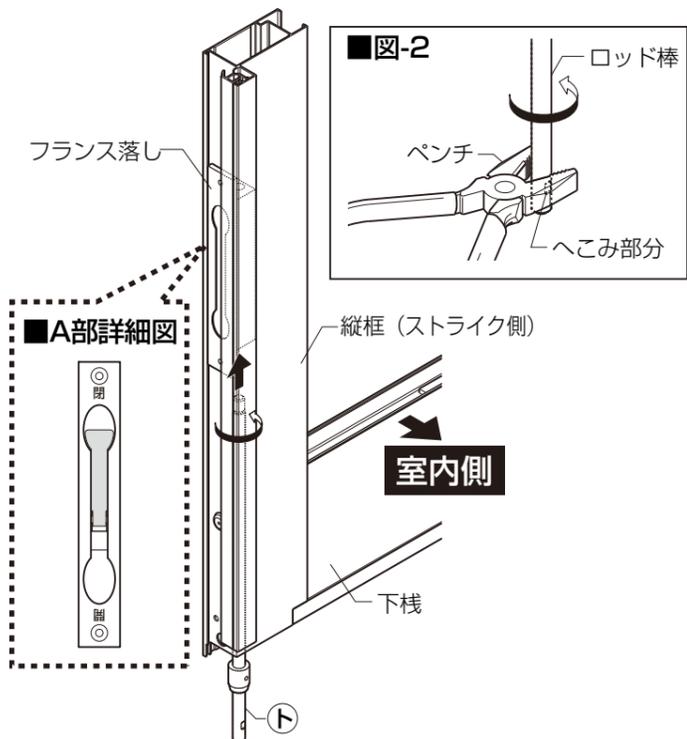
⑥プッシュボタンを取付けます。

※組立てた本体のW寸法が、中央部のみ大きい場合は、必ず矯正してください。

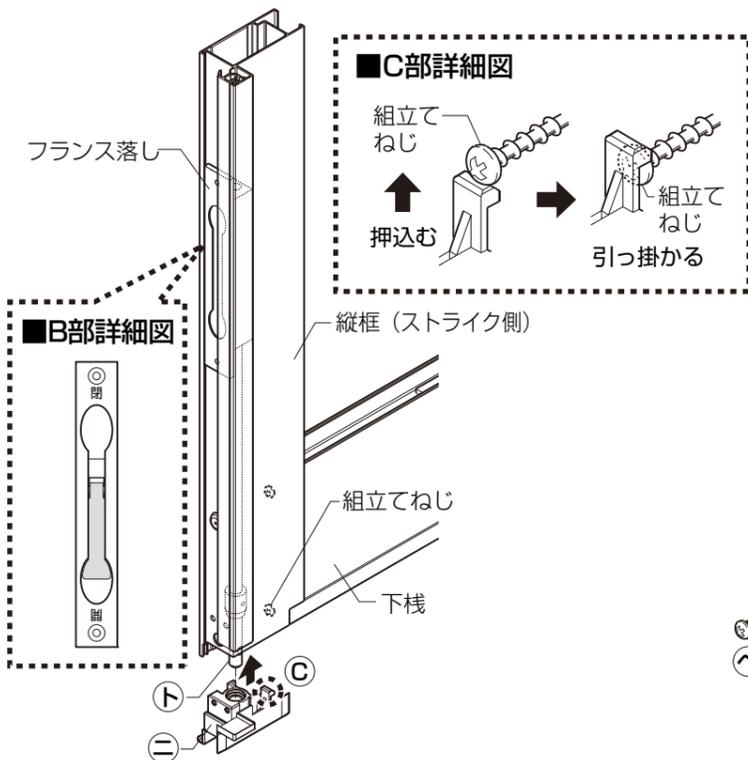


## 2 ロッド棒、ストライク側キャップの取付け

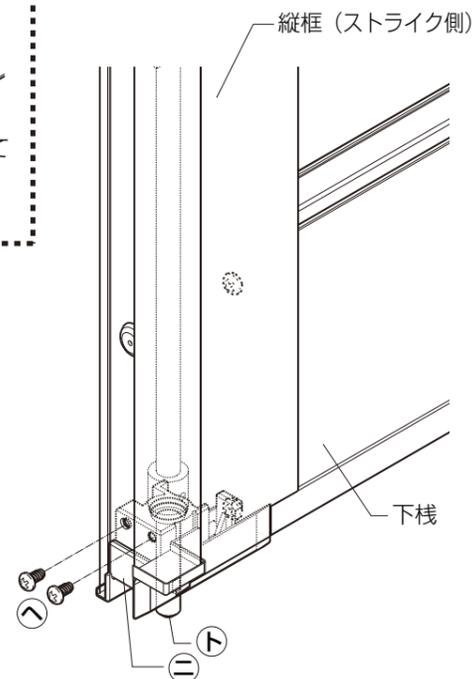
- ① フランス落しを「閉」にします。(A部詳細図)
- ② ストライク側縦框に取付けてあるフランス落しにロッド棒のねじ部を差込み、回転できなくなるまで締めます。  
※ロッド棒には上下の使い分けがあります。上用に識別シールが張付けされていますので確認のうえ使用してください。  
※ロッド棒先端のへこみ部分をペンチなどでつかみ、固く締込んでください。(図-2)



- ③ フランス落しを「開」にします。(B部詳細図)
- ④ ストライク側キャップをキャップ中央の穴にロッド棒が通るようにしてはめ込みます。  
※ストライク側キャップには上下の使い分けがあります。確認のうえ使用してください。  
※キャップ取付けの際に、C部が組立てねじの頭にぶつかります。パチンと音がして、C部がねじに引っ掛かるまで押込んでください。

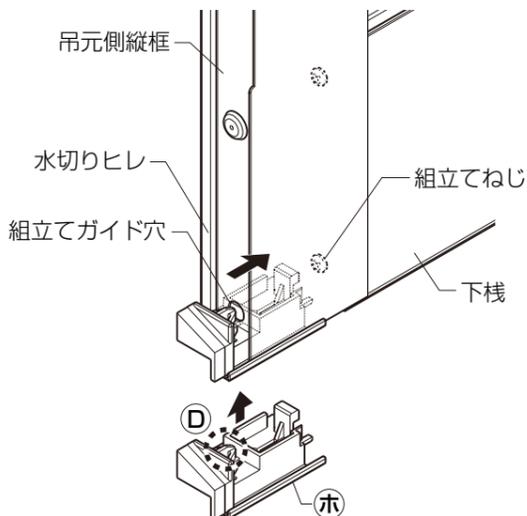


- ⑤ ねじで固定します。  
※キャップ取付け後にフランス落し「閉」「開」を数回繰返し、異常がないことを確認してください。ロッド棒がキャップに当たる場合はロッド棒が奥まで締込まれてないおそれがあります。再度締込んでください。



## 3 吊元側キャップの取付け

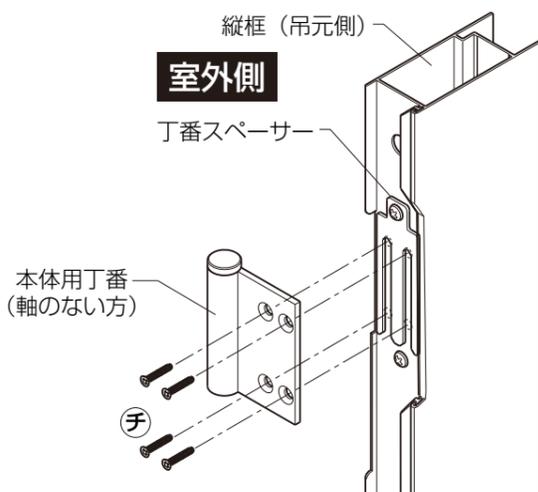
- ※ 枠キャップには、上下の使い分けがあります。確認のうえ使用してください。
- ① 枠キャップを縦框に差込み、D部を縦框のガイド穴に「パチン」と音がするまで押込みます。  
※水切りヒレをかみ込まないように取付けてください。
  - ② 手で引いて、外れないことを確認します。



**注意**  
● 型材切断面でケガをするおそれがありますので、縦框(上・下)には同梱の枠キャップを必ず取付けてください。

## 4 本体用丁番の取付け

- 本体用丁番(軸のない方)を、縦框(吊元側)の丁番スペーサーの上にねじ止めします。
- ※ 丁番スペーサーは外さないでください。現場での建付け調整ができなくなります。
- ※ 在来工法でH20より大きい場合のみ、本体用丁番を3枚使用します。
- ※ 枠用丁番(軸付き)・取付けねじ・ワッシャーは、枠の組立てまでなくさずに保管してください。



※ 本体組立て後に保管する場合は、本体フィンに重量がかからないよう木などを当ててください。  
木又はスチロール